

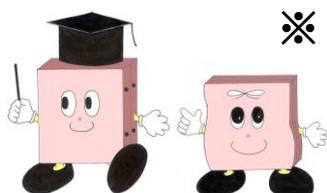


古文書を取り扱うときの注意



古文書は、閲覧利用することによって、多かれ少なかれ傷んでいきます。傷みを最小限にとどめ、永く保存していくため、古文書の取り扱いには十分な注意が必要です。利用者の方は、次の点によく注意して古文書を閲覧してください。

- ① 古文書に触る前に、よく手を洗ってください。
- ② 筆記用具は、必ず鉛筆を使ってください(インク類の使用は禁止です)。
- ③ 古文書を広げたり、頁をめくる時は、ゆっくり丁寧に行ってください。
- ④ 頁をめくる時に、指に唾をつけるのはおやめください。
- ⑤ 古文書を無理に広げたり、押さえつけないでください。古文書の上に物を置いたり、手をついたりしないでください。
- ⑥ 古文書を筆記具で指したり、指でなぞったりこすったりしないでください。
- ⑦ 古文書にしおり以外のものを挟まないでください。しおりは、閲覧室に備え付けのものを使ってください。のり付きの付箋(「Post-it」など)は使わないでください。
- ⑧ 古文書に書き込みをしたり、トレースをしたりしないでください。
- ⑨ 胸ポケットに物を入れないでください(前かがみになって閲覧した際に、古文書の上に物が落ちる危険性があります)。また、ネクタイが古文書にこすれないよう注意してください。
- ⑩ 広げた古文書は、元の通りにしまってください。絵図や地図など、元の折り方が分からなくなった時や、しまい方が分からなくなった場合は、カウンターの職員に申し出てください。職員が片付けます。



※ 古文書は、かけがえのない歴史資料です。後世に永く残し伝えるため、大切に扱うよう、心がけましょう。